

【 公共施設等総合管理計画を策定へ 】

近年、公共施設や交通インフラなどの老朽化、長寿命化が課題となっています。

施設の寿命は一般的に 50 年から 60 年といわれています。町内の公共施設でもその多くが老朽化の対策が必要とされる建築後 30 年が経過し、中でも杉戸小学校、杉戸中学校や町役場庁舎など建築から 50 年以上経過している施設が 21.2%を占めているのが現状です。また、今後は人口減や少子高齢化による社会保障費の増大や税収減が見込まれることから、すべての公共施設を保持していくことは財政的に非常に困難となることが予想されます。

そこで、町民 2000 人に対しアンケートを行うなどして意見を募り、「杉戸町公共施設等総合管理計画」を今年度末までに策定することになりました。

今回の知！のコーナーはこのことに関連するものとしたのでご参考ください。



建設から 50 年たつ中央公民館

～ 大橋よしひさ第 21 回町政報告会 ～

【 杉戸宿を知ろう！案内人による杉戸宿解説！ 】

現在、杉戸宿が各方面で取り上げられ、ガイドブックを持ちながら町めぐりをする人をよく見るようになりました。その杉戸宿めぐりでは、杉戸宿案内人の会というボランティアの方々が活躍されています。



今回の報告会は、案内人の会代表の寺田竹雄氏にお越しいただき、町政報告の後に杉戸宿の名所をスライドショーにて解説していただきます。杉戸宿を知るいい機会ですので是非お越しください。

また、仁部前崇議員と結成した会派「^{ぜんしん}是新」の会報を近日発行いたしますのでご期待ください。

町政報告会+杉戸宿解説

日時：11月5日(土)

時間：10時～

場所：中央公民館

ゲスト：寺田竹雄案内人の会代表

【 大橋よしひさ(35歳)プロフィール 】

- ・ 杉戸町生まれ。杉中、越谷北高校、明治大学卒。 ・ 趣味 読書
- ・ 学習塾・向学館塾長。現在 35 名が通塾しています。←ホームページ開設
- ・ 消防団(第 2 分団)所属、商工会青年部加入、地域の一員としても活動しています。

知！ 58

杉戸町が保有する公共施設の数です。延べ床面積の割合では、学校教育系施設が多く、約 6 割を占めます。

杉戸宿を山折りにして読みかたを。

杉戸町議会議員

平成 28 年 10 月発行

大橋よしひさレポート

第 33 号



発行元：大橋よしひさ後援会

自宅：[杉戸町内田 3-9-5 / 34-7392]

e-mail：yoshihisa.ohashi.sugito@hotmail.com



ホームページ開設!!

大橋よしひさで検索!

ブログも更新中!

400 年もいよいよクライマックスへ!そしてその後は…。

杉戸宿は今年開宿 400 年を迎えています。そのクライマックスとなるのが 10 月 30 日に行われる「宿場まつり」です。宿場まつりには杉戸町の宣伝大使である虻川美穂子さんや上田清司埼玉県知事がいらっやいます。まつりのメインは「杉戸宿時代行列」。虻川さんが例幣使(れいへいし)という役に扮し、総勢約 500 名もの行列が行われる予定です。

しかし、問題はその後です。大きな目玉が終わった後、どう杉戸宿で人を呼ぶのか。そのことが大きな課題であると考えます。議会でも 401 年への対策について質疑をし、今後の方向性としては、「1 宿、2 グルメ、3 めぐり」を中心とした事業を行っていきたいという答弁がありました。いずれにしてもこの事業を一過性のものとせず杉戸に人を集められるように知恵を出し合う必要があります。



～ 去年行われた宿場まつりの一幕 ～

今後の 400 周年関連記念イベント

10月23日	パチパチ寄席
10月23, 30日	たまふわ茶屋
10月30日	宿場まつり 杉戸宿ウォーク
11月3日	産業祭
11月27日	壱里競走大会

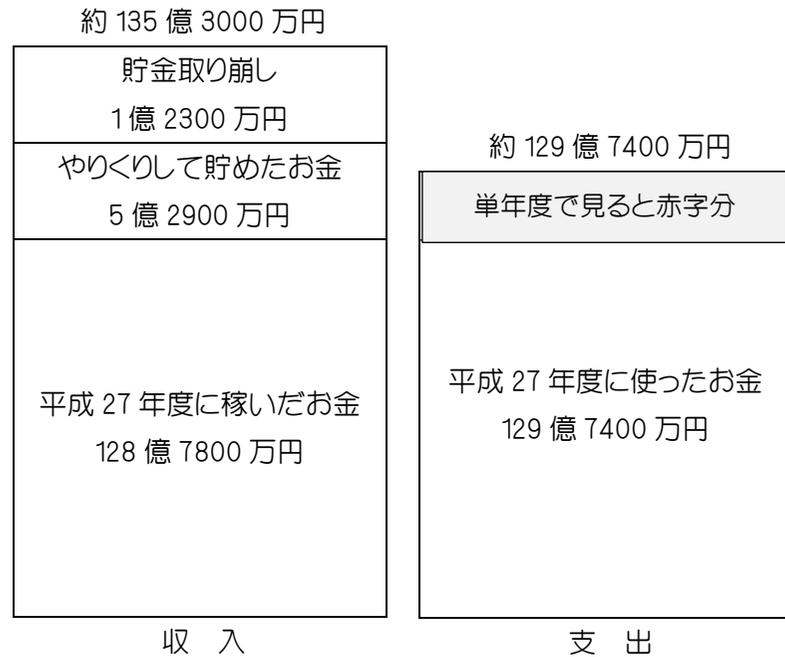
知！

このコーナーでは、杉戸町のミニ情報をお届けします。

【本当に町にはお金がないのか？平成27年度決算審査！】

町財政を家計に例えると、収入には、

- ① 平成27年度に稼いだお金
- ② 今までにやりくりして貯めてきたお金
- ③ 貯金の取り崩し の3つに分かれます。これらを考慮して内訳を見ると下のようになります。



左の図のように、
トータルでは
5 億 5600 万円の黒字
ですが、
平成 27 年度単年では、
9400 万円の赤字
となっています。
※ トータル(実質収支)で赤字の団体は平成26年度は全国で2団体だけです。

次に、**貯金(基金)**についてです。

貯金は大きく2つの種類があります。

- ① 使い道に決まりがない(財政調整基金)
- ② 使い道に決まりがある(公共施設改修基金)

これらの推移は以下のようになっています。

	平成 26 年度	平成 27 年度	(増減)
使い道に決まりがない	9 億 2700 万円	10 億 7000 万円	1 億 4300 万増
使い道に決まりがある	3 億 8900 万円	3 億 1000 万円	7900 万円減
計	13 億 1600 万円	13 億 8000 万円	6400 万円増



また、借金の総額は今まで減少傾向が続いてきましたが、すぎと幼稚園、保育園建設のための借り入れを行ったため、去年に比べ**1 億 6400 万増の 88 億 7200 万円**となりました。

知！ 67.6%

建設後 30 年を経過した公共施設の割合です。

大橋よしひさ町政に問う！

〈オーストラリア・バッセルトンとの交流について〉

バッセルトンとの姉妹都市交流が始まって 20 周年。市民交流が続くものの国際交流協会の会員減など課題は多い。交流の利益を町民にどう還元するのか。更なる交流促進策についても質問・提案した。

問(大橋):国際交流協会の会員数が減少しているようだが、その対策は。

答(住民参加推進課長):法人の会員数を増やすよう努力したい。

問:法人会員を増やすためには、法人にも利益がなければ難しい。個人対個人では限界もある。

お金を介在させて店舗の相互出店などしてビジネスに結び付けていってはどうか。

答:旅費を払ってまで出店するのは難しいのではないのかと考える。

問:出店までは難しいので、もっと頭を柔らかくして特産品などを販売してはどうか。

答:そのような交流は一度試したことがあるが拡大できなかった。しかし、特産品などにより交流が活性化できればいいと思うので、検討したい。

問:バッセルトンの訪問団の中には何回も訪問している人がいるようだが。

答:受け入れの条件があるため、何回も訪問している人がいる。

問:受け入れの条件を下げるなどして、より多くの人に参加できるようにはできないか。

答:相手方と協議しながら検討をしていきたい。



〈道路に愛称を〉

問(大橋):町道〇号線といわれても、どの道路を指しているのかわかりにくい。そこで町民に親しまれる道路になるようにするためにも道路に愛称をつけることはできないか。

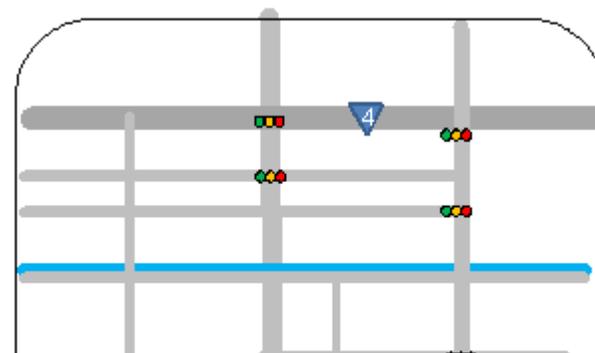
答(都市施設整備課長):愛称をつけると、公称、愛称、通称の3つの路線名が同時に存在することも考えられ、町民が混乱することが予想されることから今後調査研究をしたい。

問:どのようにして道路に愛着を持ってもらうようにしているのか。

答:必ずしもできていない部分があるが、適切な道路の維持管理をして道路環境を整えることで道路に愛着をもってもらいたい。

知！ 473 億円

このまま公共施設を維持したとしたときに、今後 40 年間にかかる建替え・改修費用。1年あたりでは 11.8 億円になる。



約 135 億 3000 万円
貯金取り崩し 1 億 2300 万円
やりくりして貯めたお金 5 億 2900 万円
平成 27 年度に稼いだお金 128 億 7800 万円

来年 1 月より平均月 108 円の値上げ(一般家庭平均使用 40m³)となります。

下水道会計は、予算 11 億円のうち一般会計から 3 億円以上の援助を受けています。

※なお、この件については特集として次号皆さまにお伝えいたします。